

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 6 月 11 日 (2015.6.11)

【公開番号】特開 2013-232848 (P2013-232848A)

【公開日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2013-062

【出願番号】特願 2012-104883 (P2012-104883)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 12/04 (2009.01)

H 0 4 W 12/06 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 C

H 0 4 L 9/00 6 0 1 E

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

H 0 4 Q 7/00 1 8 2

H 0 4 Q 7/00 1 8 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 20 日 (2015.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

他の通信装置と第 1 の暗号鍵を共有する第 1 の処理を実行する第 1 の共有手段と、

前記第 1 の暗号鍵が共有された場合に、前記第 1 の暗号鍵を利用して前記他の通信装置と第 2 の暗号鍵を共有する第 2 の処理と、前記第 1 の暗号鍵を利用することなく前記他の通信装置と前記第 2 の暗号鍵を共有する第 3 の処理と、を実行する第 2 の共有手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記第 2 の共有手段は、前記第 3 の処理に失敗した場合に前記第 2 の処理を実行し、前記第 3 の処理に成功した場合には前記第 2 の処理を実行しない、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記第 1 の処理、前記第 2 の処理、及び前記第 3 の処理は、ユニキャスト鍵およびグループ鍵を共有するための 4 ウェイハンドシェークである、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記第 1 の処理において前記通信装置が認証側装置として動作した場合には前記第 2 の処理及び前記第 3 の処理において前記通信装置は被認証側装置として動作し、

前記第 1 の処理において前記通信装置が被認証側装置として動作した場合には前記第 2 の処理及び前記第 3 の処理において前記通信装置は認証側装置として動作する、

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記第 1 の処理において前記通信装置が認証側装置として動作するか、非認証装置として動作するかを判定する判定手段をさらに有する、

ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記第 3 の処理は、平文を用いて前記他の通信装置と前記第 2 の暗号鍵を共有する処理である、

ことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記第 1 の処理、前記第 2 の処理、及び前記第 3 の処理は、IEEE 802.11 シリーズに準拠した処理である、

ことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記第 1 の暗号鍵及び前記第 2 の暗号鍵は、IEEE 802.11 シリーズに準拠したアドホックモードでの無線通信を行うための暗号鍵である、

ことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 9】

通信装置の制御方法であって、

他の通信装置と第 1 の暗号鍵を共有する第 1 の処理を実行する第 1 の共有工程と、

前記第 1 の暗号鍵が共有された場合に、前記第 1 の暗号鍵を利用して前記他の通信装置と第 2 の暗号鍵を共有する第 2 の処理と、前記第 1 の暗号鍵を利用することなく前記他の通信装置と前記第 2 の暗号鍵を共有する第 3 の処理と、を実行する第 2 の共有工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

コンピュータを請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の通信装置として動作させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するため、本発明による通信装置は、他の通信装置と第 1 の暗号鍵を共有する第 1 の処理を実行する第 1 の共有手段と、前記第 1 の暗号鍵が共有された場合に、前記第 1 の暗号鍵を利用して前記他の通信装置と第 2 の暗号鍵を共有する第 2 の処理と、前記第 1 の暗号鍵を利用することなく前記他の通信装置と前記第 2 の暗号鍵を共有する第 3 の処理と、を実行する第 2 の共有手段と、を有する。